

NEW TREND  
予備校の学習環境づくり

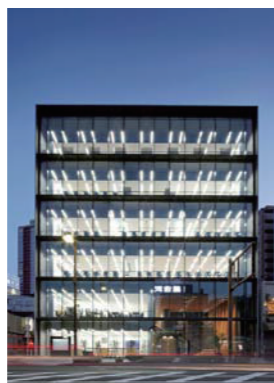


今、受験生の心をとらえるのは、  
勉強に集中する環境を選べること。

創立80年近い歴史をもつ河合塾は、

授業環境の整備だけでなく、塾生が合格に向けてモチベーションが高められるような場づくりを進めている。

2012年春に新設された浜松校では、多様な自習室を用意して塾生が選べるようにしたり、木の素材感が生かされた明るく居心地の良い空間を設けたりときめ細やかな配慮をしている。浜松校の新たな試みに焦点を当て、名古屋校と上本町校の学習環境づくりを併せて紹介する。



学校法人  
河合塾 浜松校

KAWAIJUKU HAMAMATSU CAMPUS

所在地：静岡県  
設計：(株)日建設計  
家具設計：(株)ネクスト・エム

浜松校 校長  
波多野 百合子 氏  
Yuriko Hadano



中部教務部 部長  
西田 修 氏  
Osamu Nishida

学習の基盤は、  
塾生との相互コミュニケーション。

環境によって人は成長していくものだと考えています。浜松校を選んできた受験生は、新しい学習環境で仲間と切磋琢磨して勉強し、講師やチューター<sup>※</sup>との係わりを通して一人ひとりが合格力をつけて目標を達成する。一方で講師やチューターは、最大限の態勢で支援する。それが予備校のあるべき姿だと思います。

授業は塾生一人ひとりの理解度を確かめながら進められ、その前後に講師が塾生の質問に答える機会を多く取っています。塾生との相互コミュニケーションを促進するために、オープンな雰囲気のある講師室や相談しやすいカウンターを設置して、疑問があればいつでも相談できるようにしました。さらに浜松校では「校舎担任の日」を設け、各教科講師が決まった日時に待機して塾生の疑問や相談に応じています。チューターは、面談のほか「チュートリアル<sup>※</sup>」を毎週行うなど、きめ細かなサポートをしています。また、塾生向けの「拡大チュートリアル」や「保護者向け講演会」を開催して、最新の入試情報を伝えます。これらのことは、塾生が安心して受験に取り組むうえでとても大事なことだと思います。

※チューター：一人ひとりの志望状況を把握した上で、志望大学に合格するには何が必要かなどを適切なタイミングで指導し、他に保護者を交えた三者面談も担当する。校舎に常駐し、塾生一人ひとりに担当チューターがつく。

※チュートリアル：予備校のホームルーム

塾生に合う学習環境や、  
スタッフとの距離を近づける場を用意。

今の受験生は、学習環境に対する考え方が変わってきています。以前は自習と言えば専用自習室にこもることが多かったのですが、今は自分に合う場所での勉強を望むようになりました。緊張感を持って勉強したい、開放的な場で勉強したい、また友達と一緒に勉強したいなどニーズが多様なので、さまざまなタイプの自習室を用意し塾生に選んでもらえるようにしています。

また浜松校には、「スタッフと塾生の距離が近い」という特長があります。それは2階の場づくりに表れており、塾生が困ったときには、まずここに来れば支援が得られるようになっています。塾生は、1階から大階段を上がり、2階で講師やチューターの前を通過して3階以上の教室へ向かいますが、その動線が大事だと考えています。塾生もスタッフも自然に声をかけ合えることができますし、実際に以前よりお互いのコミュニケーションの機会がぐっと増えました。1～2階の内装に“木”を多用していることも、双方の気持を和らげて声をかけやすくしているのかもしれない。

## 気分を切り替えて勉強に集中できる、 快適な空間づくりを。

快適な塾空間のポイントは、リフレッシュしながら学習する「ラウンジ自習室」で、1階と5階にあります。

1階のラウンジ自習室は、全面ガラス張りの明るい空間で、普通の予備校とは違ったカフェテラスのような雰囲気を持たせて入りやすくしました。同時にここは「個人」から「受験生」へと気持ちを切り替えていく場でもあるのです。

5階のラウンジ自習室は情報ステーションの隣にあり、壁はガラス張りで見通せます。例えば自習中に入試問題の確認をしたいときなどにも、すぐ調べることができます。ここには赤本などの書籍情報や、最新の受験情報を得るためのパソコンを設置しています。

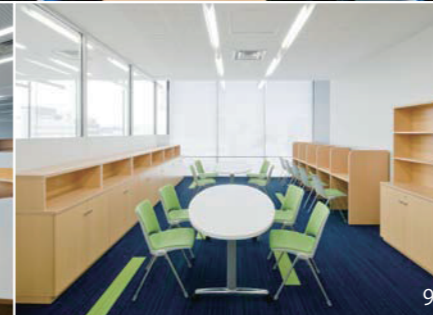
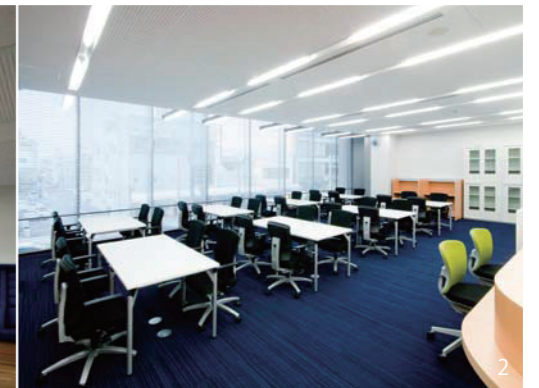
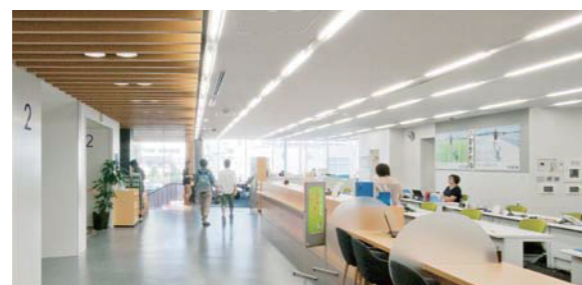
この他、塾生の利用が多い専用自習室は集中力が高まる個別ブース型で、最上階の6階に199席を用意しています。足音やイスを引く音が塾生の集中を妨げないよう、床をカーペット敷にしました。

講師室はガラス張りの窓側にあり、明るく開放的だと講師の方からも好評です。

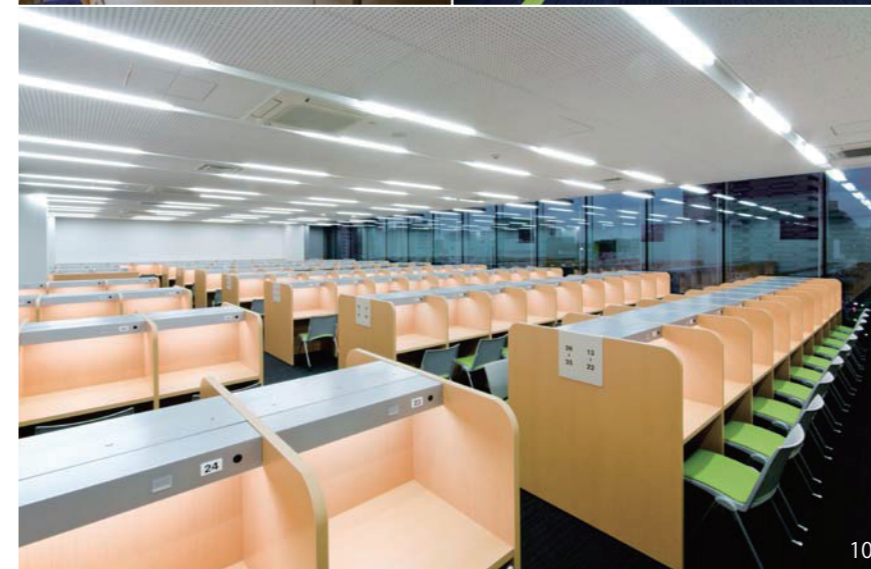
## 地域性を活かした取り組みなどで、 塾生のモチベーションをアップ。

新設された浜松校はスタッフにとっても新しい環境であり、どうしたら塾生のみなさんに満足していただけるのかを、塾生や保護者の目線で考え改善していきたいと思えます。また、大学ガイダンスをタイムリーに実施するなど、塾生のモチベーションアップにつながるような催しも充実させたいと考えています。今夏は高卒生向けに、河合塾のOBやOGの成功体験を話しに来てもらいましたが、浜松市の地域規模ですと同じ高校の先輩であることも多く、身近に感じたようです。民間の教育機関として、浜松という地域性を生かした取り組みも進めていきたいですね。

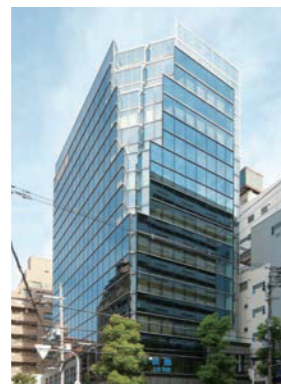
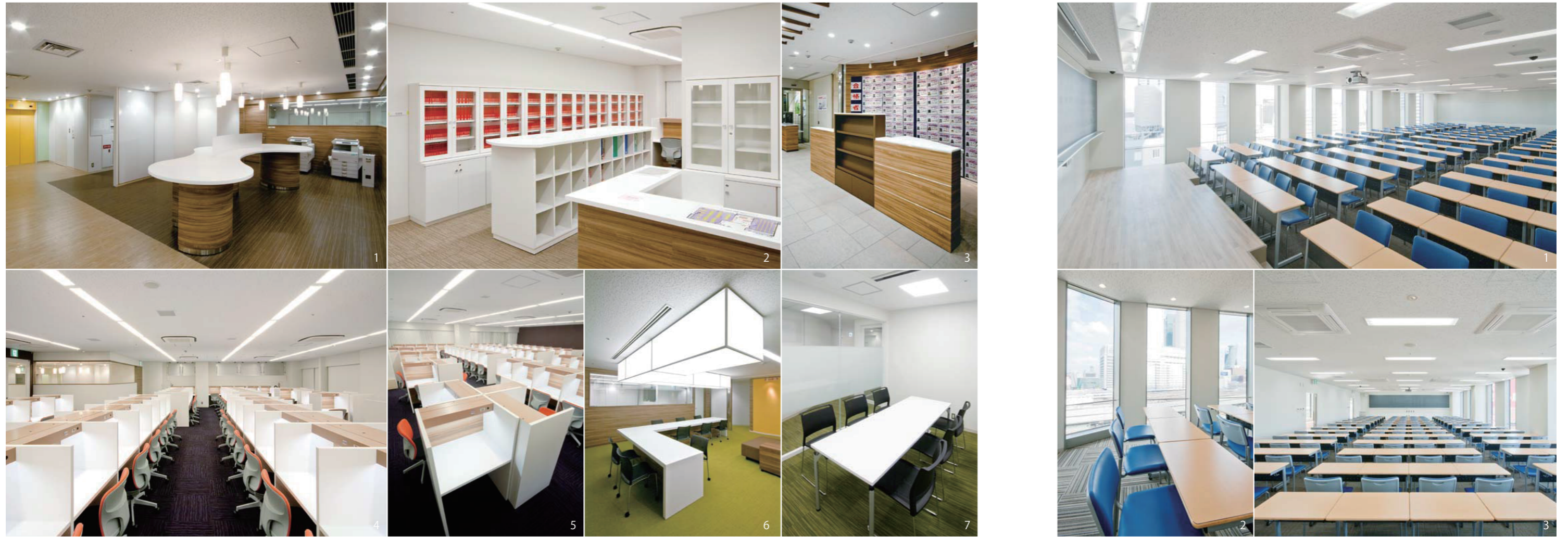
おとなしい子どもが多いと言われる現代では、受験目標に向かって躊躇しているときに、専門スタッフが相談の場を用意し、ちょっと背中を押してやる必要があるのではないのでしょうか。そのためにも学習環境づくりは大切だと考えています。



1 1階 ラウンジ自習室「デルファイスクエア」/ エントランス横に設けられ、塾生はここで勉強へと気持ちを切り替える。イス・ソファ・テーブル: 特注品 2 2階 講師室 / 屏のない空間で、塾生は気軽に相談できる。回転イス、テーブル: DTN 3 3階 受付とチューター室 / 回転イス、テーブル 4 2階 カウンセリングルーム / ソファが置かれ、ゆったりとカウンセラーの話が聞ける。5 ラウンジ / 塾生とスタッフが気軽に話し合える。6 3階 ゼミ室「ダ・ヴィンチルーム」 / 主に少人数のゼミが行われる。イス: ナビット、テーブル 7 教室 / イス: 特注品、デスク: SCM-300特注品 8 5階 ラウンジ自習室 / 情報ステーション隣接の開放的な自習室。イス、テーブル: 特注品 9 5階 情報ステーション / イス: デューン、テーブル: 特注品、収納棚: 特注品 10 6階 専用自習室 / イス: デューン、自習机: 特注品 199席



**NEW TREND**  
 予備校の学習環境づくり



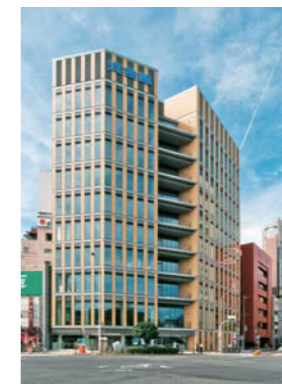
**上本町校**

UEHONMACHI CAMPUS

所在地:大阪府  
 設計:(株)松田平田設計  
 家具設計:(株)ネクスト・エム



1 3階 教え合いスペース/カウンター:特注品 2 3階 情報ステーション/カウンター・収納棚:特注品  
 3 1階 パンフレット棚/特注品 4 5 3階 自習室/イス、自習机:特注品 108席 6 2階 フェローカウン  
 ター/イス:ルッシュ、カウンター:特注品 7 2階 面談室/イス:ティーポ、テーブル:DTN



**名古屋校**

2012年12月開校

NAGOYA CAMPUS

所在地:愛知県  
 設計:(株)松田平田設計  
 家具設計:(株)松田平田設計



1.2.3 10階 教室/イス:特注品、デスク:SCM-300特注品